

シンポジウム 北海道の少子化問題と地域社会を考える

二十一世紀の日本では、かつて経験したことのない少子高齢化の波が押し寄せてきました。とりわけ広域分散社会といわれ、過疎地域が多い北海道では、その少子高齢化を先取りしているようです。その中で、地域社会をどうすれば維持し、持続可能な開発ができるのか、待たなしの模索が、各方面で始まろうとしています。

このたび、北海道エンパワーメント研究会（座長：金子勇北大教授）では、このテーマについて広く若い方から一般市民まで、専門家を交えてともに考える下記のシンポジウムを開催することにしました。ふるってご参加下さい。

日時 平成17年12月17日（土曜日）13:30～17:00

会場 (財)北海道開発協会 6階会議室 A

札幌市北区北11条西2丁目 セントラル札幌北ビル
*地下鉄南北線・北12条駅下車 徒歩1分

プログラム

1. あいさつ
2. 基調講演 『子どもが減っても大丈夫な社会を』 13:35～14:45
信州大学人文学部助教授 赤川 学 氏
3. 論点整理 14:45～15:05 北海道大学大学院文学研究科教授 金子 勇 氏
4. パネルディスカッション『北海道の少子化問題と地域社会を考える』 15:20～16:50
パネリスト : 赤川 学 氏
金子 勇 氏
小林 好宏 氏（北海道武蔵女子短期大学学長、
北海道開発協会開発調査総合研究所長）
長野登喜代 氏（札幌市男女共同参画センター所長）
コーディネーター：和田 佳子 氏（北海道武蔵女子短期大学助教授）
5. おわりに

主催 北海道エンパワーメント研究会

後援 (財)北海道開発協会 北海道社会学会

問い合わせ (財)北海道開発協会開発調査総合研究所（研究会事務局）

担当：草薙、齊藤 e-mail: kenkyujo@hkk.or.jp

TEL(011)709-5213 FAX(011)709-5229